記者発表

平成２８年８月２３日
国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所

台風９号に伴う降雨における
白川ダム・寒河江ダムの防災操作（洪水調節）効果について

～　　白川ダムによる水位低減効果　約３１センチ　　～

～　　寒河江ダムによる水位低減効果　約１３９センチ　　～

最上川ダム統合管理事務所管内では、台風９号に伴う降雨により平成２８年８月２２日から２３日にかけて、白川ダム及び寒河江ダムにおいて洪水調節を実施しました。

白川ダムへの最大流入量は約３１１㎥/sで、**洪水調節でダムにため込んだ水の総量（以下、「調節総量」とよびます。）は、約１３１万㎥**に達しました。（東京ドームを容器とすると約１杯分）

この洪水調節により、**白川ダムの下流河川の水位を約３１㎝低減**させる効果があったものと推測されます。

寒河江ダムへの最大流入量は約５４０㎥/sで、**洪水調節でダムにため込んだ水の総量（以下、「調節総量」とよびます。）は、約４９７万㎥**に達しました。（東京ドームを容器とすると約４杯分）

この洪水調節により、**寒河江ダムの下流河川の水位を約１３９㎝低減**させる効果があったものと推測されます。

今後しばらくの間、ダムからの放流がつづきますので、河川やダムの情報に注意してください。

※防災操作（洪水調節）：川の増水を少なくするため、ダムに流れ込む水を貯めて川の水の量を減量している状態です。

【発表記者会:山形県政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関１５８
副所長（技術）　大沼　敏治　（内線２０４）
調査課長　　村岡　章　（内線３５１）
電話　０２３７－７５－２３１１（代表）

出水速報　最上川水系　白川ダムの効果（ 平成28年８月２２日台風９号に伴う洪水 ）

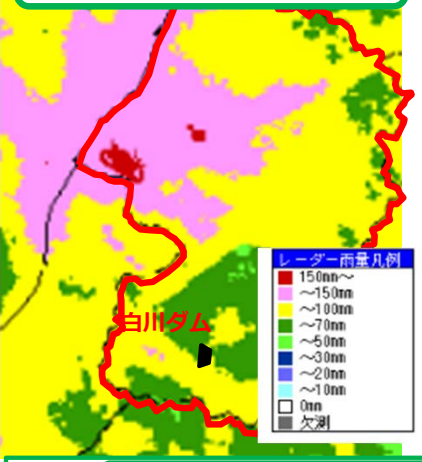
○最上川水系置賜白川の白川ダム上流域において、８月22日１４時頃から降り続いた雨は、23日２時までに**累加雨量が１０８mmに達し、白川ダムでは最大毎秒311m³/s（８月22日23：00）の水が流れ込みました。**

○今回の洪水において、白川ダムでは**約１３１万m³（※東京ドームで約１杯分）の水を貯め込み、下流河川の水位の低下を図りました。**

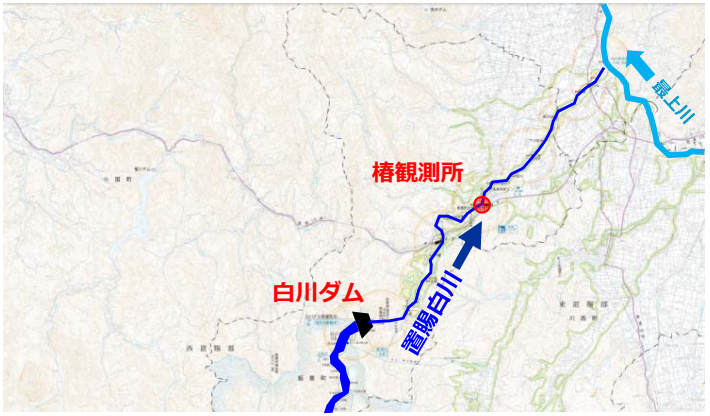
○白川ダムによって、ダム下流の**飯豊町椿地点（置賜白川下流基準地点）で約31cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。**

※東京ドーム約124万m³

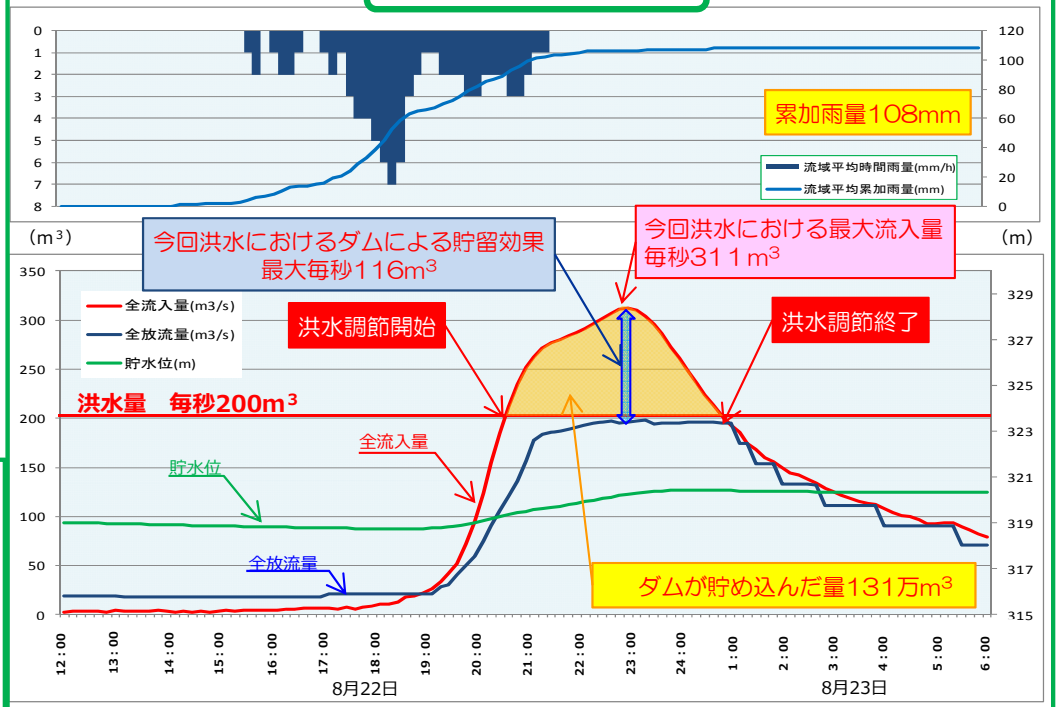
レーダー累加雨量
（８月２２日１４：00～８月２３日２：00）



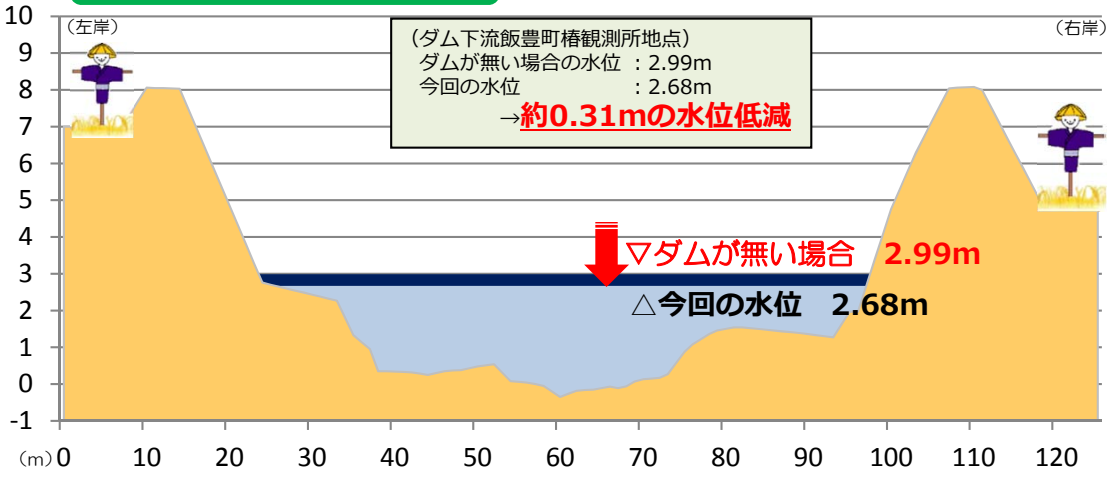
位　置　図



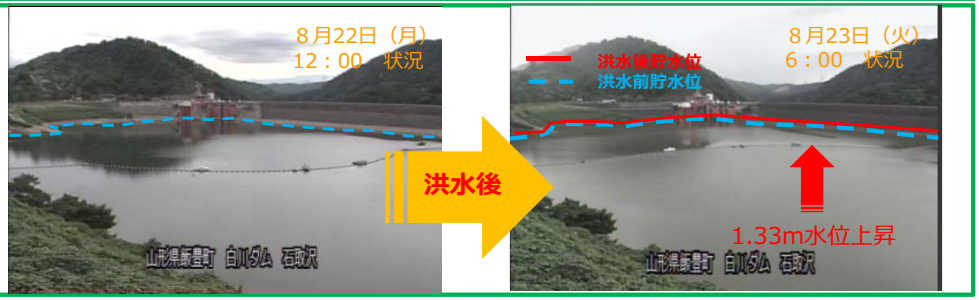
白川ダムの洪水貯留状況



置賜白川における水位低減効果



白川ダム貯水状況

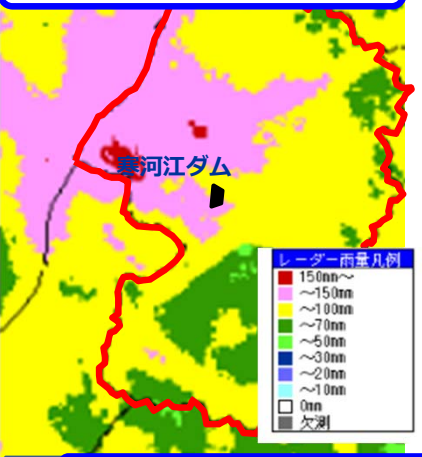


出水速報　最上川水系　寒河江ダムの効果（ 平成28年８月22日台風９号に伴う洪水 ）

○最上川水系寒河江川の寒河江ダム上流域において、８月22日１４時頃から降り続いた雨は、23日６時までに**累加雨量が９６mm**に達し、寒河江ダムでは**最大毎秒540m³**（８月22日23：10）の水が流れ込みました。
○今回の洪水において、寒河江ダムでは**約４９７万m³（※東京ドームで約４杯分）の水を貯め込み**、下流河川の水位の低下を図りました。
○寒河江ダムによって、ダム下流の**寒河江市西根地点（寒河江川下流基準地点）で約139cmの水位を低減させる効果**があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

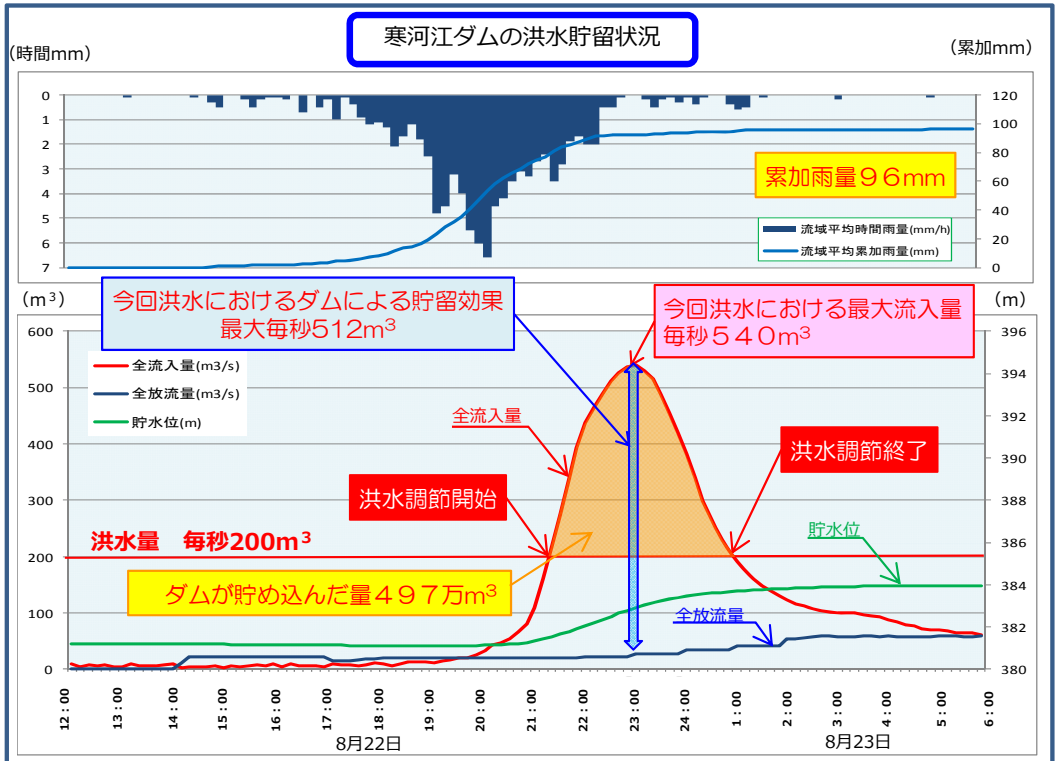
レーダー累加雨量
（８月２２日１４：00～８月２３日6：00）



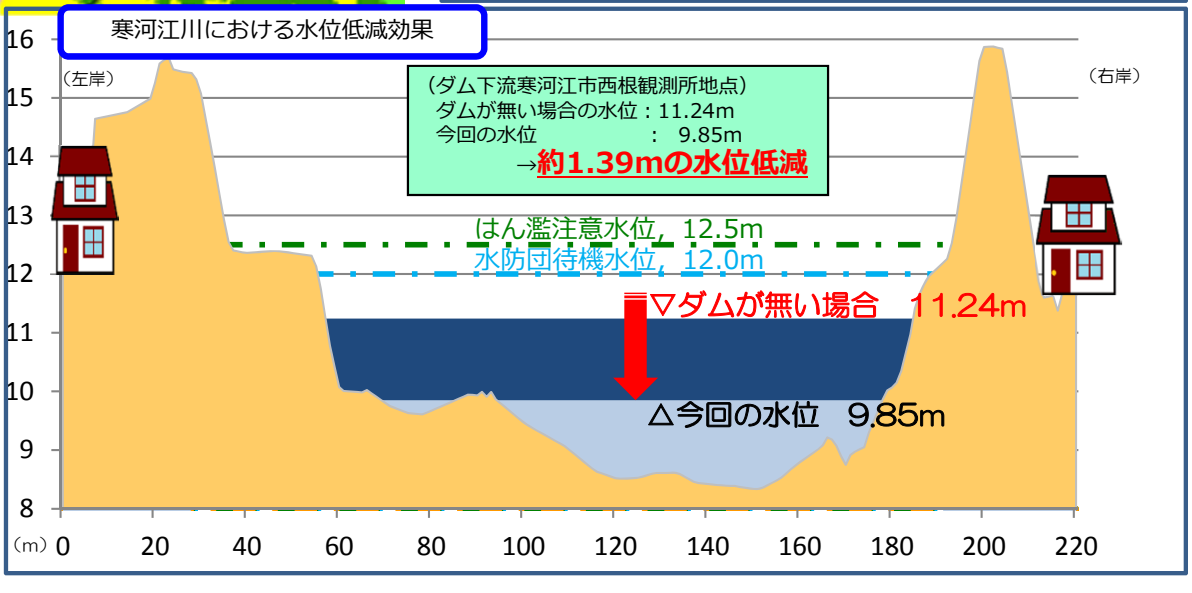
位　置　図



寒河江ダムの洪水貯留状況



寒河江川における水位低減効果



寒河江ダム貯水状況

